

エコアクション21

環境活動レポート

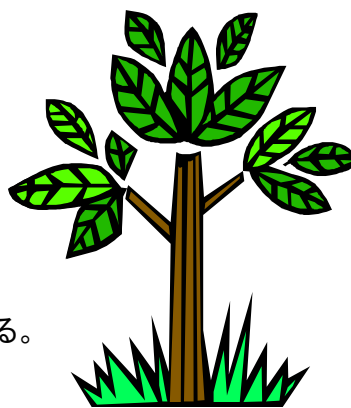
68期版（期間： 2014年7月～2015年6月）

《目次》

・環境方針	
・組織の概要、対象範囲	p. 1
・環境目標及びその実績	p. 2-9
・環境活動計画と取組結果とその評価	p. 10
・次年度の取組内容	p. 11
・環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	p. 12-14
・代表者による全体の評価と見直しの結果	p. 15
・環境管理組織	p. 16

この木について

樹木名：クリップアート
樹齢：5年3ヶ月
生育地：環境レポート表紙
特徴：環境活動と共に、成長する。



日本資材株式会社

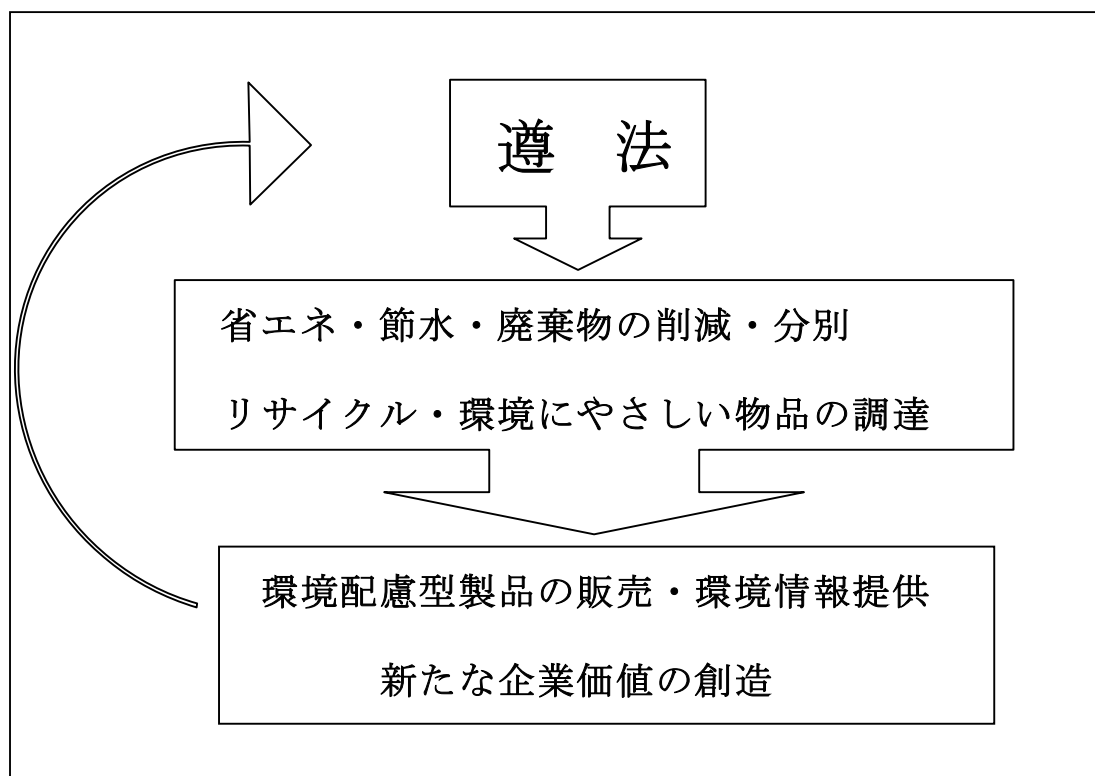
作成： 2015年11月2日

環境方針

持続可能な社会を構築にむけて、事業者が担う責任として、環境負荷の継続的な削減へ取り組み、環境経営を推進します。事業所内での省エネ、節水、廃棄物の削減、分別リサイクル等だけでなく、仕入から販売まで（川上から川下まで）の原料・商品の流れの中で、取り組むべき課題を問い、目標を定めて、全組織・全事業活動での環境負荷の削減を目指します。

基本方針は明快にして、着実に目標を達成致します。

- 一、 先ず、環境に悪いことをしない。（環境に関する法規等の遵守）
- 二、 次に、環境に良いことをする。（省エネ・節水・廃棄物の削減・分別リサイクル・環境にやさしい物品の調達）
- 三、 更に、環境配慮型製品の販売・環境情報提供を推進して、新たな企業価値の創造を目指します。



改訂日： 2010年9月29日

日本資材株式会社
取締役社長 高野繁正

□ 組織の概要

1) 名称及び代表者名

日本資材株式会社

代表取締役社長 高野 繁正

2) 所在地

本社 大阪府大阪市中央区博労町1丁目5番6号

東京店 東京都中央区日本橋箱崎町31-4

京都店 京都府南区上鳥羽岩ノ本町10

名古屋店 愛知県名古屋市西区幅下2-18-12

福井店 福井県福井市問屋町3-209

見附店 新潟県見附市新町3-11-11

福山店 広島県福山市道三町3-7

R&Dセンター 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-2

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役統括部長 寺尾 周二

TEL : 06-6264-0222

担当者 管理本部課長 本山 幸一

TEL : 06-6264-0222

4) 事業内容

生産緒資材(化学品の輸出入含む)、電子材料の開発・販売、ラミネート加工品及び機械器具類の販売並びに輸出入。

5) 事業規模

売上高 本社 5,845百万円(全社 11,960百万円) [2015年6月期実績]

	本社
従業員	31
延べ床面積 (m ²)	1,581

R&Dセンター
9
2100

(R&Dセンターは2008年度に認証取得済)

東京店	京都店	名古屋店	福井店	見附店	福山店	合 計
12	2	3	9	1	1	68名
196	237	99	794	231	73	5,311m ²

6) 事業年度 7月～6月

□ 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号 0006521

認証・登録日 2011年1月26日 有効期限 2017年1月25日

登録組織名: 日本資材株式会社 本社

東京店、京都店、名古屋店、福井店、見附出張所、福山店

活動: 産業資材全般, 電子材料, ラミネート加工品及び機能性フィルムの販売

2015年度（2014年7月～2015年6月）

□環境目標及びその実績

全社取組

項 目		2009年度 基準年1	2012年度 実績	2013年度 基準年2	2014年度 実績	2015年度 目標	2015年度 実績	評価 X△○
電力量使用あたりの CO2排出量 (都市ガス含み)	kg-CO2	43,097	37,865	65,798	64,252	64,482 △1%	61,818	○
			△12%		△2.3%		△6.0%	
自動車燃料使用量 あたりのCO2排出量	kg-CO2	27,422	22,188	68,891	67,612	67,513 △1%	57,940	○
			△19%		△1.8%		△15%	
CO2排出量 合計	(Kg/年)	70,519	60,052	134,689	129,886	131,995 △1%	119,758	○
			△14%		△3.5%		△11%	
一般廃棄物 (中間リサイクル含 み)	(Kg/年)		1,425	2,260	2,621	2,215 △1%	1,800	△
					13%増		△20%	
産業廃棄物 (マニフェスト)	(Kg/年)		0	0	0	数値化	数値化	×
			廃棄無	廃棄無	廃棄無		検討中	
廃棄物排出量 合計	(Kg/年)		1,425	2,260	2,621	2,215 △1%	1,800	△
					0		△20%	
生活用水使用量 の削減	(m ³ /年)	447	354	635	525	622 △1%	596	○
			△21%		△17.5%		△6.1%	
化学品の販売量 (輸入量)	(トン/年)		345トン	378トン	500トン	輸入量 把握	463トン	○
環境情報の提供 活動(見える化)	(件数 /年)	***	***	***	***	件数化	検討中	×
						福井店	モデル化	
社内グリーン購入の (オフィス用品含み) 向上	(購入 達成率)	100%	100%	8.5%	12.7%	100%	70.8%	△
				(本社分)	(本社分)		(本社分)	
コピー用紙購入量の 削減	(Kg/年)	1,299	1,094	1,511	1,428	1,481	1,944	X
		(2010年)	△10%		△5.4%	△1%	28%増	

※電気使用あたりのCO2排出量は、基準年度のCO2排出係数0.366kg-CO2/kWh

※2012年から改正化審法(輸入量)で数値化

※2013年から全社実績

※コピー機回数(本社) 参考データ

コピー機使用量	(回数)	前期	今期	対前年比
本社2階		42,440	40,417	95%
本社5階		70,702	74,479	105%

2013年度計画（2012年7月～2016年6月）

□中期環境目標

項 目		2013年度 (基準年度)	2014年度 (目標)	2015年度 (目標)	2016年度 (目標)
電力量使用あたりの CO2排出量 (都市ガス含み)	kg-CO2	65,798	65,140	64,482	63,824
			△1%	△2%	△3%
自動車燃料使用量 あたりのCO2排出量	kg-CO2	68,891	68,202	67,513	66,824
			△1%	△2%	△3%
CO2排出量 合計	(Kg/年)	134,689	133,342	131,995	130,648
			△1%	△2%	△3%
一般廃棄物 (中間リサイクル含 み)	(Kg/年)	2,260	2,237	2,215	2,192
			△1%	△2%	△3%
産業廃棄物 (マニフェスト)	(Kg/年)	0	0	0	0
廃棄物排出量 合計	(Kg/年)	2,260	2,237	2,215	2,192
			△1%	△2%	△3%
生活用水使用量 の削減	(m ³ /年)	635	629	622	616
			△1%	△2%	△3%
化学品の販売量 (輸入量)	(トン/年)	378トン	輸入量把握	輸入量把握	輸入量把握
社内グリーン購入の (オフィス用品含み) 向上	(購入 達成率)	100%	100%	100%	100%
		(本社分)			
コピー用紙購入量の 削減	(Kg/年)	1,511	1,496	1,481	1,466
			△1%	△2%	△3%

※電気使用あたりのCO2排出量は、基準年度のCO2排出係数0.366kg-CO2/kWh

※2012年から改正化審法(輸入量)で数値化

※2013年から全社実績

電気使用量

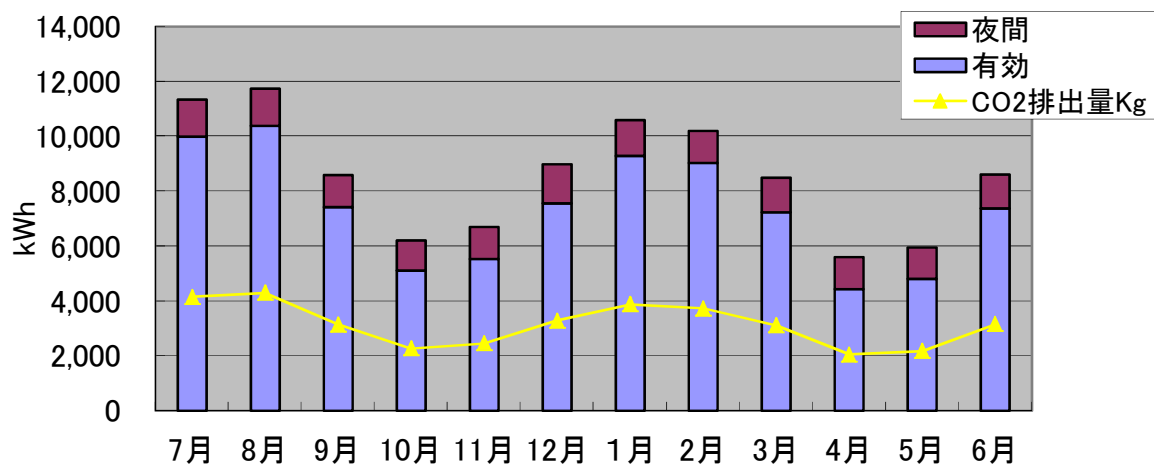
2013年7月～2014年6月

(CO2排出係数: 0.366kg-CO2/kWh)

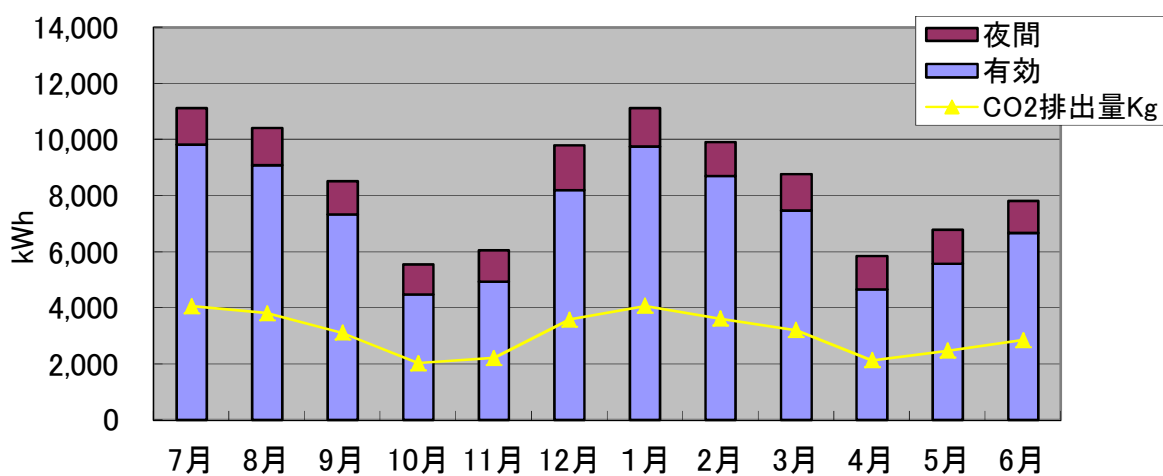
2014年7月～2015年6月

	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)
7月	11,331	9,990	1,341	4,147	11,117	9,834	1,283	4,069
8月	11,747	10,386	1,361	4,299	10,417	9,095	1,322	3,813
9月	8,578	7,428	1,150	3,140	8,535	7,346	1,189	3,124
10月	6,203	5,118	1,085	2,270	5,559	4,480	1,079	2,035
11月	6,704	5,534	1,170	2,454	6,069	4,949	1,120	2,221
12月	8,978	7,551	1,427	3,286	9,796	8,197	1,599	3,585
1月	10,604	9,280	1,324	3,881	11,132	9,746	1,386	4,074
2月	10,191	9,020	1,171	3,730	9,913	8,697	1,216	3,628
3月	8,504	7,241	1,263	3,112	8,765	7,464	1,301	3,208
4月	5,601	4,437	1,164	2,050	5,843	4,674	1,169	2,139
5月	5,944	4,810	1,134	2,176	6,784	5,573	1,211	2,483
6月	8,610	7,382	1,228	3,151	7,817	6,679	1,138	2,861
合計	102,995	88,177	14,818	37,696	101,747	86,734	15,013	37,239

電気使用量(2013年7月～2014年6月)



電気使用量(2014年7月～2015年6月)



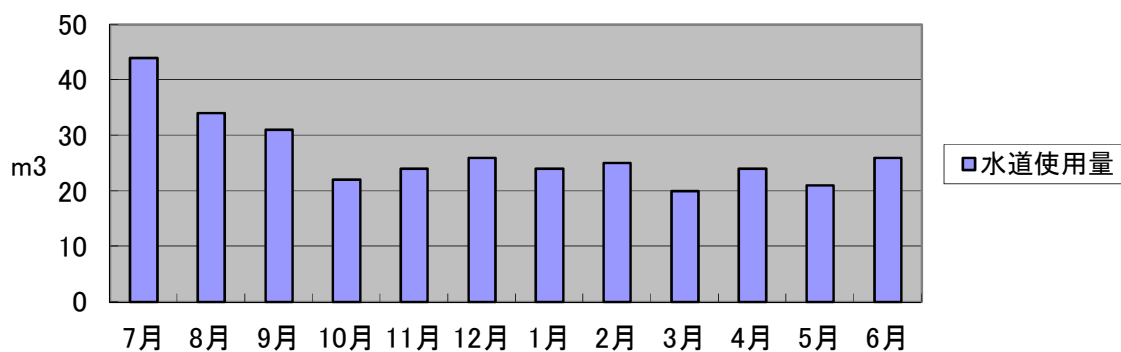
水道使用量 本社
2013年7月～2014年6月

	m ³
7月	44
8月	34
9月	31
10月	22
11月	24
12月	26
1月	24
2月	25
3月	20
4月	24
5月	21
6月	26
合計	321

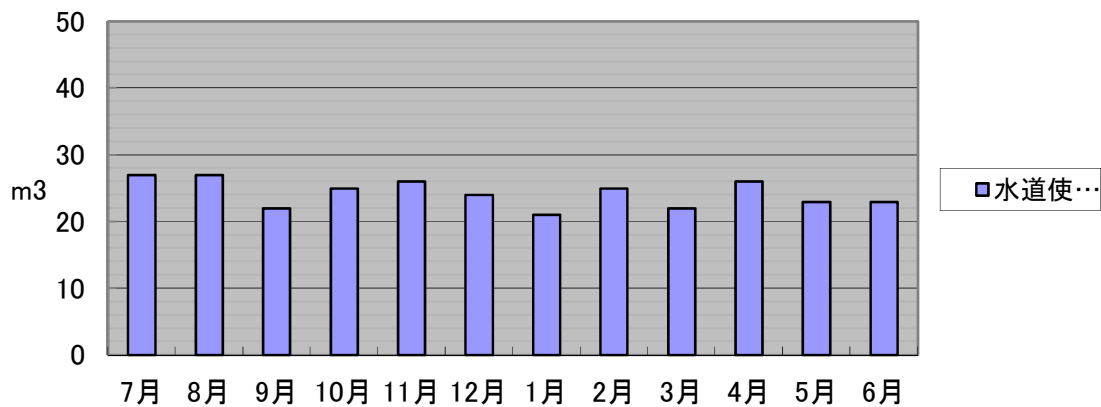
2014年7月～2015年6月

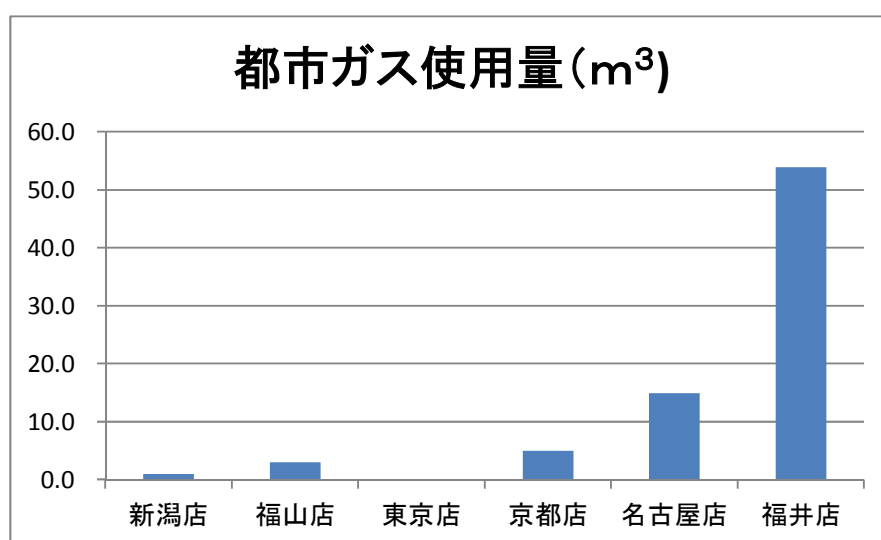
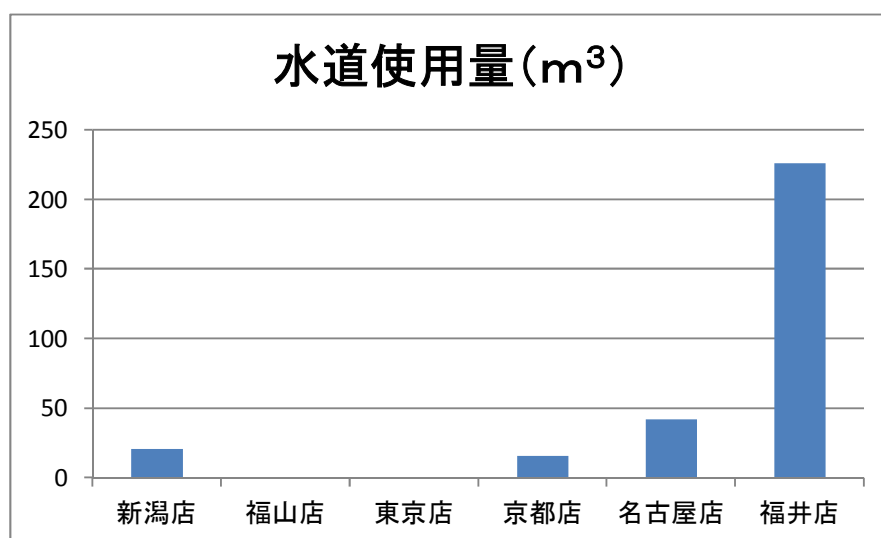
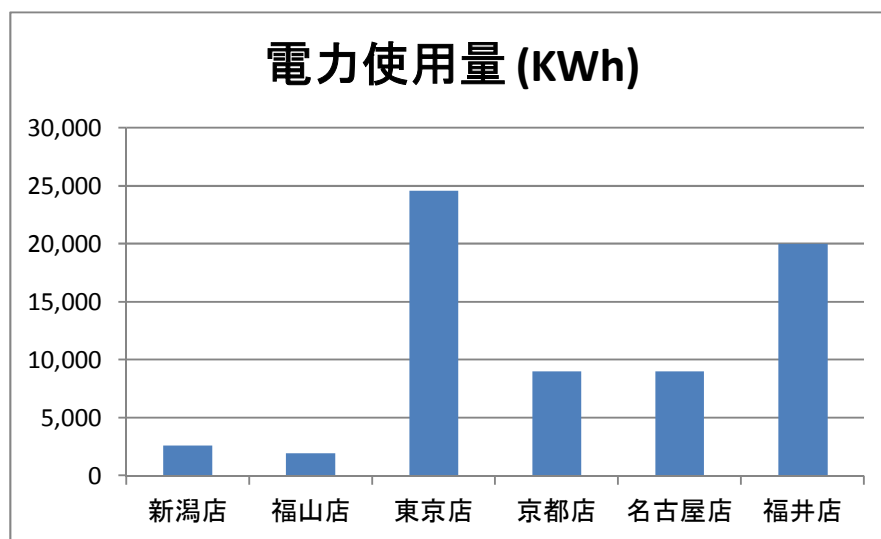
	m ³
7月	27
8月	27
9月	22
10月	25
11月	26
12月	24
1月	21
2月	25
3月	22
4月	26
5月	23
6月	23
合計	291

2014年度水道使用量



2015
年度水道使用量



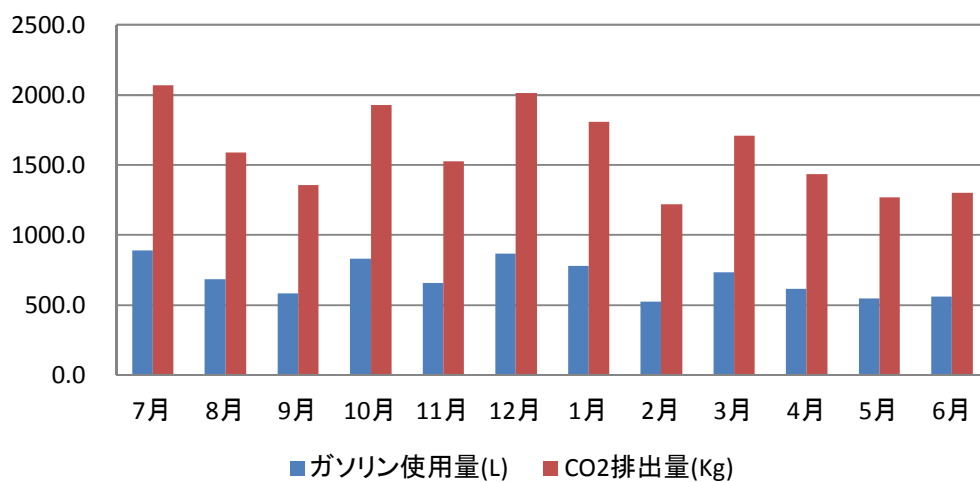


ガソリン使用量（大阪本社）

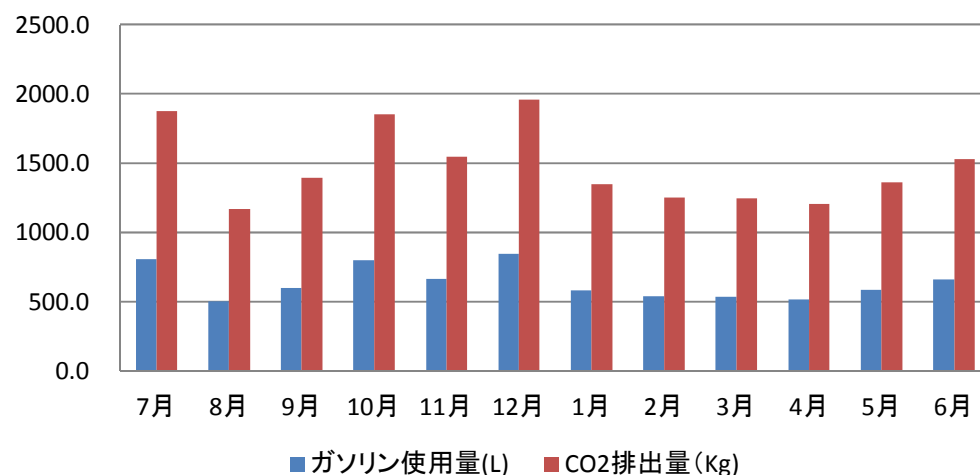
排出係数 2.32166

	2014年		2015年	
	合 計	排出量Kg	合 計	排出量Kg
7月	892.1	2071.153	807.8	1875.321
8月	686.2	1593.123	504.1	1170.418
9月	584.7	1357.475	601.3	1396.084
10月	830.6	1928.371	799.4	1855.981
11月	657.6	1526.724	667.2	1549.012
12月	868.0	2015.201	845.3	1962.453
1月	779.8	1810.43	581.6	1350.231
2月	524.9	1218.639	540.6	1255.113
3月	737.3	1711.76	538.3	1249.726
4月	619.3	1437.804	519.1	1205.22
5月	548.0	1272.27	587.1	1363
6月	561.4	1303.38	660.0	1532.296
合計	8289.9	19246.3	7651.8	17764.9

2015年度



2014年度



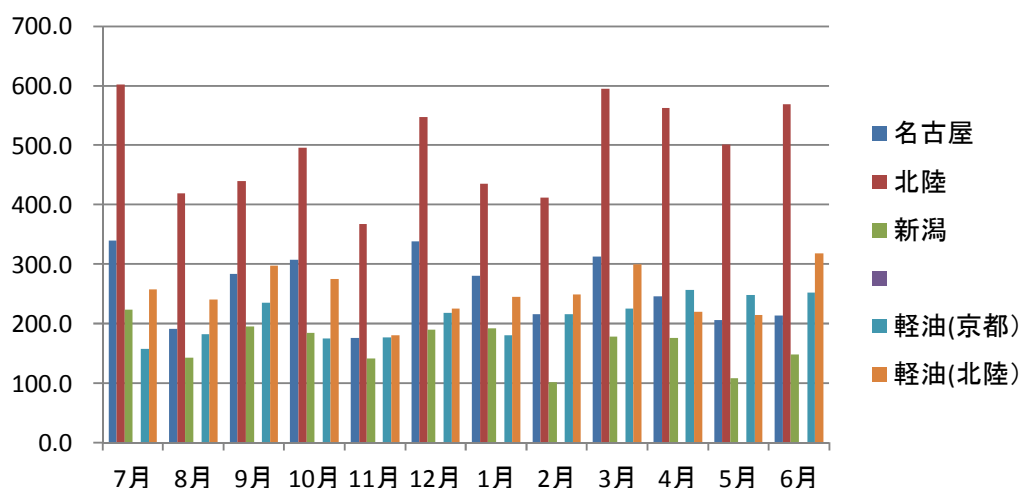
ガソリン使用量（各店）

ガソリン 排出係数 2.322
軽油 排出係数 2.619

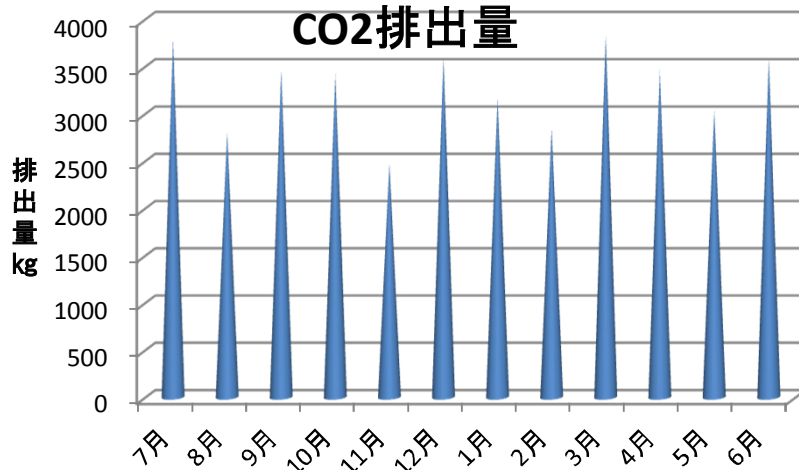
	名古屋	北陸	新潟		軽油(京都)	軽油(北陸)	排出量Kg
7月	339.2	602.3	222.7		157.8	257.9	3792
8月	190.8	418.8	142.4		182.0	240.0	2797
9月	283.8	440.1	195.0		235.0	298.0	3460
10月	307.2	495.7	184.0		175.1	275.0	3418
11月	176.0	367.3	141.2		176.5	180.0	2471
12月	338.3	547.8	190.1		217.4	225.0	3593
1月	280.8	435.4	191.5		180.6	245.0	3169
2月	216.0	411.9	102.0		215.8	249.0	2848
3月	312.9	595.3	178.5		225.0	300.0	3832
4月	246.3	562.7	176.0		256.4	220.0	3459
5月	205.9	501.4	108.5		248.0	214.1	3031
6月	213.7	568.7	147.9		252.6	318.0	3580

合計	3111.1	5947.2	1979.9	0.0	2522.2	3022.0	39449
----	--------	--------	--------	-----	--------	--------	-------

各店ガソリン・軽油使用量



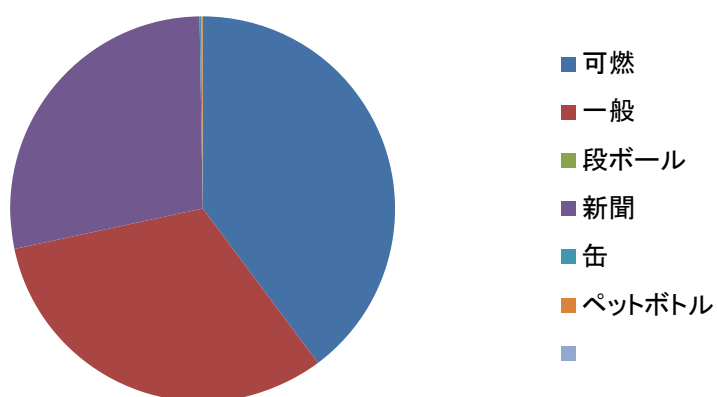
CO2排出量



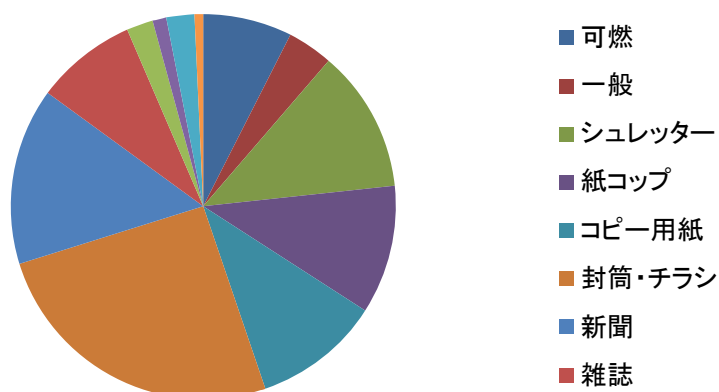
26年7月～27年6月

	新潟	福山	京都	名古屋	北陸	支店計		本社
可燃	2.50	0.00	19.93	135.40	182.70	340.53	可燃	70.30
一般	101.50	40.00	21.96	3.20	106.60	273.26	一般	36.20
段ボール						0.00	シュレッター	112.80
新聞			99.38	141.40		240.78	紙コップ	101.50
缶			2.88			1.02	コピー用紙	101.00
ペットボトル			1.02			1.02	封筒・チラシ	239.10
							新聞	140.00
							雑誌	80.00
各店計	104.00	40.00	145.17	280.00	289.30	856.61	段ボール	21.00

各店事業系ごみ（一般廃棄物）



本社事業系ごみ（一般廃棄物）



缶	11.00
ビン	22.00
ペットボトル	7.00
	941.90

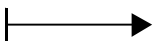
2015年度（2014年7月～2015年6月）

環境管理計画

承認 年月日	作成 年月日
27.10.20	27.10.19
	

環境方針	環境目的及び実施項目	スケジュール	取組結果とその評価	評価 ○△×	問題の是正及び予防
		2015年度			
1. 環境に悪いことをしない 《法規制の遵守》	環境関連法規 (1)コンプライアンス(法令遵守)の リスク管理 ①CSRマニュアル作成・文書化 (今期の重点項目)	→	①CSR=企業経営 Environment-環境問題、Social-社会問題、 Governance-企業統治 大企業のまねでなく、現行の EA21を進めることが当社のCSRの中核とする。	△	コンプライアンスの管理については、 従業員任せでなく、具体的な対策を 検討する。報連相の再確認。
2. 環境に良いことをする 省資源活動 《事業系一般廃棄 物量の削減》	(1)事業系一般廃棄物から 資源ゴミ分別 ①事務所・倉庫の整理・整頓	→	①6月15日福井、6月26日京都、6月30日本社 長期在庫不良品廃棄	△	今回は、営業面からの不良品の 廃棄で、5S面での整理・整頓は まだ充分でない。
	(2)電力量使用あたりのCO2 排出量の削減 ①空調フィルターの定期的な清掃 ②室外機の運転環境整備 ③夏季日射対策の実施	→	使用電力量(本社): 66/67期 2.8%減少 → 67/68期 1.2%減少(対前年) 最大デマンド 14年7月 59Kw → 15年8月 60Kw ①7月にフィルター掃除。 ②室外機パイプの塗装。 ③玄関の水撒き	○	使用電力量は微減になった。 電気料金に係わる最大デマンドは、 夏場朝のエアコンの運転時 上がってしまう。 6月、漏電監視装置の取り付け実 施。
	(3)自動車燃料使用量あたりの CO2排出量の削減 ①営業車1台更新時に ハイブリット車へ切替 ②エコドライブ運転の継続	→	①今期は営業車の更新がなく、来期へ。 ②エコドライブ日誌の管理は継続できている。	○	管理本部部長が安全運転管理者の 多年の管理業務で表彰 (大阪府警、大阪府交通安全協会)
	(4)化審法・化管法関連化学物質 管理の マニュアル化 ①SDS(安全データシート)管理 ②化学品のリスク管理	→	①改正化審法に応じて輸入化学品の総量を管理し、 SDS管理も先ず輸入品からファイル化しました。 ②EA21の取組を化学品のリスク管理にも繋げる。	△	全社的・支店ごとの規定は、 現行は各担当者管理です。
	(5)物流の効率化	→	(6)自社倉庫からの発送について、倉庫の整理整頓	△	売上伝票など既存のデータ管理が 中心になり、リスク管理用のデータは 無し。
	(6)IT指標化	→	(7)サイボズの有効活用	△	文書・伝票類の廃棄が残っている。 徐々にではあるが、 ペーパーレス化の方向へ。
	(7)サイボズの有効活用	→		△	
3. 環境配慮型製品の 販売・環境情報提供	①環境関連製品の販売実績及び 新聞記事・広告のファイル化 ②SDS受領書を管理本部で 一元管理ファイル化。	→	①環境関連製品に係わらず管理本部でファイル化。 ②本社、京都、北陸倉庫のSDSの見える化。	△	社内への周知も含め、今後の見直し (Action)が継続になります。

2016年度（2015年7月～2016年6月）



環境管理計画

承認	作成

作成	2015年10月19日
訂正	2015年11月20日

環境方針	環境目的及び実施項目	対象組織	実施担当者	継続・新規区分
1. 環境に悪いことをしない 《法規制の遵守》	環境関連法規 (1)コンプライアンス(法令遵守)のリスク管理 ①マイナンバー等個人情報管理 ②就業規則の改正準備（中期目標）	全社	管理本部	新規実施
2. 環境に良いことをする 省資源活動 《事業系一般廃棄物量の削減》	(1)事業系一般廃棄物から資源ゴミ分別 ①事務所・倉庫の整理・整頓。(5S活動)	全社	管理本部 斉藤	継続実施
	(2)電力量使用あたりのCO2排出量の削減 ①空調フィルターの定期的な清掃。 ②最高需要電力の管理。(電気料金の削減) ③夏季日射対策の実施。	全社	管理本部 本山	継続実施
		本社		新規実施
		本社		継続実施
	(3)自動車燃料使用量あたりのCO2排出量の削減 ①ハイブリット車の導入及び交通事故の防止の啓発 ②エコドライブ運動の継続	全社	辻森	継続実施
	(4)化審法・化管法関連化学物質管理のマニュアル化 ①SDS(安全データシート)管理 ②化学品のリスク管理(自社取扱商品の分析)。	全社	本山	継続実施
		本社	本山	継続実施
3. 環境配慮型製品の販売・ 環境情報提供	(5)社内グリーン購入品目の検討と推進	本社	打谷	継続実施
	(6)環境関連商材及び客先へのCRS対応等社内情報の共有化。 ①環境情報提供の見える化(件数)。 ②環境関連商材の見える化。 ③客先へのCRS対応等の社内情報の共有化。	全社	本山	新規実施
		本社	本山	継続実施
		本社	斉藤	新規実施

1. 定期的法規制遵守評価表

当社では、下記の事項に付いて、1回／年 法規制遵守評価を実施する。

承認	評価者
	

法規制	チェック項目	評価の結果	苦情、訴訟の有無
1、環境基本法	①基本理念	○	無
2、地球温暖化対策法	①温室効果ガスの排出抑制等	○	無
3、廃棄物処理法 及び大阪市条例	①事業系廃棄物は適正に区分し、処理されているか。	○	無
	②事業系廃棄物は資格を持った業者に処理・処分の委託をしているか。	○	
	③事業系廃棄物の保管は適切にされているか。	○	
	④事業系廃棄物は適切な掲示がなされているか。	○	
	⑤毎年6月30日までに交付等状況報告(大阪市環境局)	○	
4、家電リサイクル法	①家電廃棄物の引渡しは適切にされているか。	○	無
5、化管法 (SDS制度)	①対象化学品の販売時に、MSDSの提供がされているか。	○	無
	②書類の保管がなされているか。	△	
	③行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
6、消防法	①安全確保の管理は適切になされているか。	○	無
	②消防用設備等の点検・報告が適切にされているか。	○	
	③行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
7、毒物劇物取締法	①劇物表示があるか。	○	無
	②鍵の掛かる保管庫に保管されているか。	○	
	③入出庫の管理と書類の保管ができていないか。	○	
8、改正化審法 (2011.4.1)	①1化学物質につき、1企業当たり1.0トン以上の製造(輸入)数量等について、経産省へ届出義務	○	無
9、労働安全衛生法 (一部改正 2014.6.25公布)	①労働者の安全と健康の確保対策を一層充実するための改正1～7項目、項目ごとに施工時期が異なる。	○	無

(不適合が発見された場合)

不具合が発見された場合環境管理責任者へ連絡指示を受ける。

2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間、法規制違反及び訴訟はありません。

各営業拠点に適用される市条例

東京店： 東京都環境局の所管する主要な条例等

法規制	チェック項目
1. 東京都環境基本条例	・環境の保全に関する基本的施策
2. 環境確保条例	・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 （平成12年 東京都公害防止条例を全面的に改正）
3. 自然保護条例	・東京における自然の保護と回復に関する条例
4. 東京都廃棄物条例	・廃棄物の発生を抑制、再利用の促進、適正な処理
5. 環境アセスメント条例	・東京都環境影響評価条例

京都店： 京都市環境政策局

法規制	チェック項目
1. 京都市環境基本条例	・環境保全について、基本理念
2. 京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	・廃棄物の発生を抑制及び再生利用の促進による減量、適正処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例	・自社産業廃棄物の保管用地の届出、保管場所の明示 ・自社産業廃棄物の運搬指示票の作成、交付、携行 ・産業廃棄物処理施設の維持管理記録の閲覧、施設の公開 ・環境の保全上容易に回復し難いと判断された時の産業廃棄物の搬入一時停止命令、即時搬入停止措置
5. 京都市環境影響評価等に関する条例	・東京都環境影響評価条例

名古屋店：名古屋市

法規制	チェック項目
1. 名古屋市環境基本条例	・環境保全について、市、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項
2. 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例	・略称「環境保全条例」、公害防止条例を全面的に見直し
3. 名古屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	・廃棄物の減量、適正処理
4. 名古屋市空き缶等散乱の防止に関する条例	・空き缶等の投棄の禁止
5. 名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例	・処理の委託における確認など

福井店： 福井市（福井県）

法規制	チェック項目
1. 福井市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 福井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・自らの責任において適正に処理すること ・再生利用等を行うことによりその削減 ・国及び地方公共団体の施策に協力
3. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

福山店： 福山市

法規制	チェック項目
1. 福山市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 福山市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例	・廃棄物(産業廃棄物以外)の減量、再生利用及び適切な処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 福井市空き缶等の散乱防止及び環境美化に関する条例	・空き缶等の散乱防止
3. 廃棄物処理法(広島県)	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

新潟店： 見附市

法規制	チェック項目
1. 見附市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 見附市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例	・廃棄物(産業廃棄物以外)の減量、再生利用及び適切な処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 見附市ふるさと美化条例	・ごみのポイ捨て禁止
4. 産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例(新潟県)	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

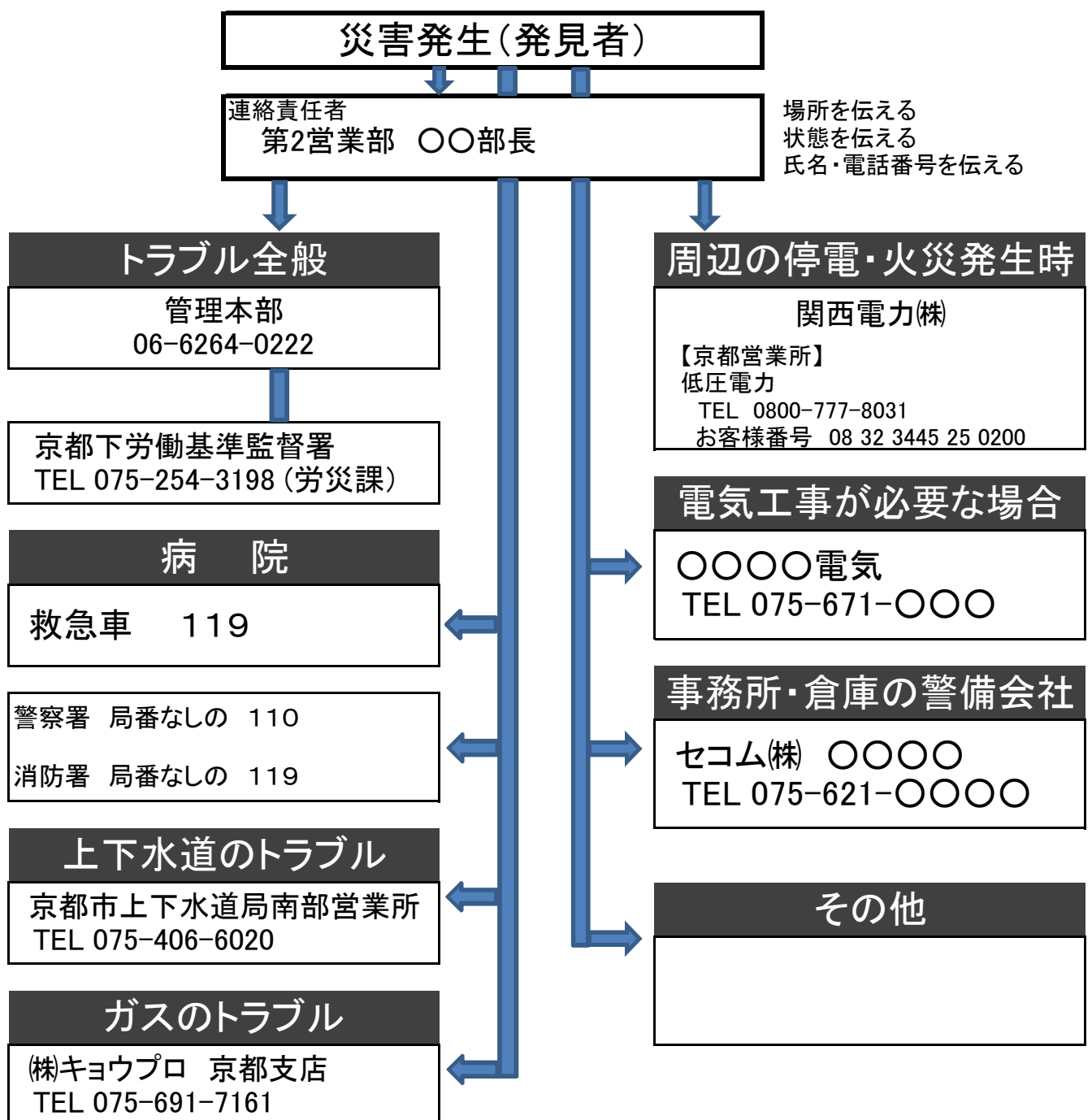
代表者による全体の評価と見直し

弊社では、3事業（マーケティング、プロダクト、コーディネート）のビジネス部門ごとに、顧客への新規商材の提案、新規マーケットへの参入、新商材の取り扱いなど、全社拡販努力をいたしました。営業活動に於きましては、ほぼ計画を達成いたしました。ただ、コーディネート部門の環境事業は停滞環境で推移しました。（前期の食料残渣リサイクルシステムなど設備販売の減少）エコアクション21の取組においては、本来業務との関係性の中で改めて問題をあきらかにすることを、社長から指示があった。引き続き<<法規制の遵守>>、<<省資源活動>>、<<環境配慮型製品の販売・環境情報提供>>の環境方針に沿い取り組んでいく。

（緊急時連絡系統図 作成）

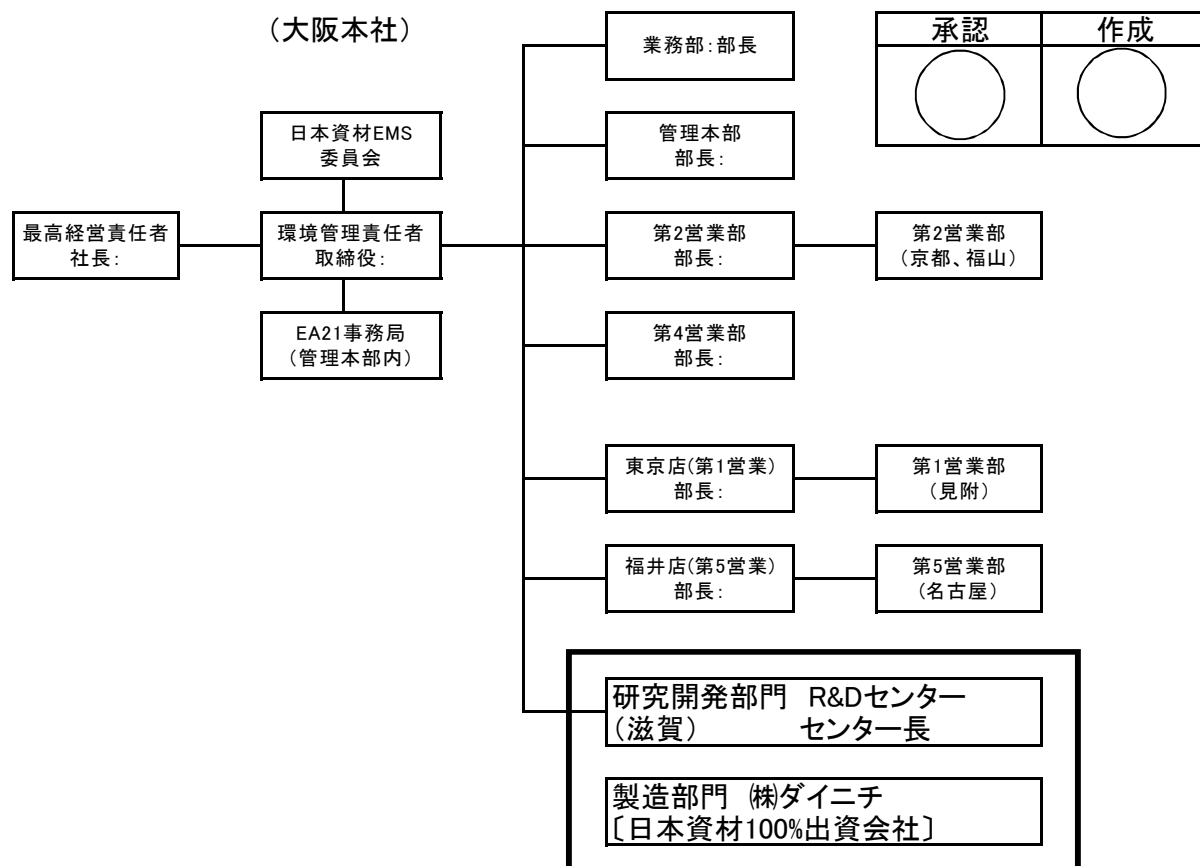
2015年1月17日作成

緊急時 連絡系統図 京都店



日本資材株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表

改正日：2013年10月1日



注：研究部門であるR&Dセンターは、(株)ダイニチの敷地内にあり、(株)ダイニチと共に環境活動に取り組んでいます。[EA21認証・登録済]

	役割・責任・権限
最高経営責任者 (社長)	・環境方針の決定と環境経営システムの見直し
環境管理責任者	・環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価結果を踏まえて、具体的な環境目標及び環境活動計画を査定する。 ・エコアクション21に関する環境経営システム(EMS)の構築・運用を円滑に行う。
EMS委員会 ※	・環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価する。 ・環境配慮型製品の販売・環境情報の提供を担う。
EA21事務局	・事務局として、環境責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般及び、環境リスク管理を所管する
部門長 ※	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

※EMS委員会は、定例(毎月または隔月)部長(EMS委員)会内で同時に開催される。

※各部門は、各部に記載している者を責任者とする。